

適 用 規 格					
定 格	使用温度範囲	-55℃ ～ 85℃	保存温度範囲	-10℃ ～ 60℃（注1）	
	電 圧	AC 50 V	使用湿度範囲	相対湿度 95%以下（注2）	
	電 流	0.3 A	保存湿度範囲	40 % ～ 70 %（注1）	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観, 構造及び仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100 mA (DC 又は 1000 Hz) で測定する。	(注3) **mΩ以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	100 MΩ以上	○	—
	耐電圧	AC 150 Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
機 械 的 性 能	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	差込力 100.8 N 以下 引抜力 4.2 N 以上	○	—
	繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 初期からの変化量20mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10 ～ 55 Hz, 片振幅 0.75 mm, 1 サイクル 5 分間 3 軸方向 各 10 サイクル試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 方向各 3 回試験する。		○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40℃、湿度 90～95%中に 96 時間放置する。	① 接触抵抗: 初期からの変化量20mΩ以 ② 絶縁抵抗: 100 MΩ以上 ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -55 → +85℃ 時間 30 → 30分 を 5 サイクル試験する。 (槽の移し換え時間は2～3分とする。)		○	—
	耐熱性	温度 85℃中に 96 時間放置する。	① 接触抵抗: 初期からの変化量20mΩ以 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐寒性	温度 -55℃中に 96 時間放置する。		○	—
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水、48 時間放置する。	接触抵抗: 初期からの変化量20mΩ以下	○	—
	二酸化硫黄	濃度 25 ppm、25±2℃、75±5 %RH 96 時間放置する。 (試験規格: JIS C 60068)			
※試験規格の記載のない試験方法は、IEC 60512(対応規格 JIS C 5402)を適用している。					
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△					
備考			承認	MK. EZAKI	16. 04. 25
注1. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。			検 図	MK. EZAKI	16. 04. 25
注2. 結露しないこと。			担 当	MK. NAGATA	16. 04. 25
注3. 接触抵抗値はスタックハイト11mmの場合、95mΩ以下となる。スタックハイトが1mm高くなる毎に、 接触抵抗規格値は5mmΩ高くなる。			製 図	KT. AIZAWA	16. 04. 25
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目		図番	SLC-354342-03-00		
HRS	製 品 規 格 表		製品名	FX10-168IP-8PH(03)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL608-0006-7-03	△ 1/1